

Happy Magazine 48

[ホッピーマガジン]

◎第48号

2017年10月発行

第12回 赤坂食べないと飲まナイト 直前情報号



魅力の新参加店、詳報掲載！



赤坂の粋が揃って51店舗。

第12回 赤坂食べないで飲まナイト

11月 **14** **15** 開催
火 水

秋の味覚が揃いました。期待の新参加店舗にもご注目。

おいしい店を揃えて、第12回赤坂食べないで飲まナイトの開催です。

今回は、赤坂食べ飲まライブがゲンと充実。

エンターテインメントの街赤坂ならではの、食べ飲まナイトをお楽しみください。



第12回 赤坂食べないで飲まナイトの開催に寄せて

12回目の「食べ飲ま」の開催おめでとうございます。
東日本大震災の影響が東京にも及ぶなか、赤坂の街を活気づけようと、震災翌年の2012年に始まったこのイベントも、今では赤坂の恒例行事としてすっかり定着しました。街に活気とにぎわいをもたらし、住む人、働く人の、街への愛着を高めることにもつながっています。一見さん大歓迎のこの企画に参加して、赤坂の街により親しみを感じ、応援団になってくれた方も多いことと思います。

本年4月から、区内全域で客引き行為等を条例で禁止し、赤坂でも生活安全パトロール隊による指導を徹底しています。より安心・快適に、お店のはしごを楽しんでいただき、あなたならではの新しい赤坂を発見してください。

まちとひとが一つになる「赤坂食べないで飲まナイト」の益々の成長を心から願っています。

港区長 武井雅昭



本木で話そう。 ⑦

【第7回】

たけい まさあき
武井雅昭港区長と

今回は、赤坂食べ飲まを応援していただいている
武井雅昭港区長を港区役所にお訪ねした。
芝公園の緑が美しい区長室もまた、森の中のようなだった。

人が動くことで街は活性化する。

武井 赤坂は今かなり活気がありますよね。

石渡 おかげさまで、「赤坂食べ飲ま」には皆さんにおいでいただいております。私が父の会社を継ぐにあたり、父は今後は愛する赤坂のために自分の人生を使うと決めて、目をつけたのが赤坂氷川神社の山車でした。そんな時に3.11があり、このままでは赤坂の街が死んじゃうとお客様に言われたのが、「食べ飲ま」を始めるきっかけでした。それに遡ること今から十数年前に赤坂ひよこクラブという我々赤坂っ子の若手の会で、赤坂の街を盛り立てていこうという動きもありました。

武井 それぞれの分野の方が自分たちなりに何か街のためにしたいという想いを持って行動されたことも一緒になって、大きな動きになったんでしょうね。

石渡 一つ一つがようやく形になってきたようです。なにより氷川様の例大祭の賑わいが物語っているのかなと思います。私の



幼い頃は閑古鳥が鳴いていたのが、今や盆踊りには二重三重の輪ができますから。

武井 氷川山車の復活が大きいですね。それぞれの町会で残されていたものを元どおりにされた。これもなかなか大変なことでしたよね。

石渡 他の神社には残ってなくて、氷川様にだけ残っていたことは、すごいなと思いますね。「食べ飲ま」も、回を重ねるに従って店同士がより緊密になっていきました。街の活性化とはやはり人なのだ、人が動くことだと改めて思います。

武井 有名な店がいくつかあれば街が活性化するかといえば、限界がありますよね。街の魅力というのは、広がりを持った面的なものですからね。やはり、エリアを大事にして盛り上げていこうという街の皆さんの気持ちがあると、街に行く方もそれを感じ取るのではないのでしょうか。

石渡 今、例えば、飲食店の皆さんが「食べ飲ま」を通じて氷川様の催事にも関心を持つようになって

くださって、貴重な休みの日曜日になおらいに使ってとお店を開けてくださったりしてるんです。

武井 自分の街に興味を持って人の話を聞いたり自分で調べたりしていると、赤坂ってこんな魅力があるんだと、こんな歴史があったんだと感じ、さらに街の一員という自覚と街への愛着が湧いてくるんでしょうね。

石渡 先日、赤坂ひよこクラブが主催する「おもてなしビアガーデン」には、すごい人が出ておりました。そこで、「食べ飲ま」にも参加いただいている女将さんから、ご提案や熱い想いをお聞きました。

武井 普段の赤坂とはまた違った形での賑わいを見ると、また、こんな仕掛けも面白いと、新しいアイデアが湧いてきたりするのでしょうか。

石渡 大都会の真ん中で、過疎化が最も進みそうなこの街で、こうした活性化が進んでいることをすごいなと思っておりまして、これをいつか地域活性化学会に発表したいと思っていますところですよ。

思いもしなかった、食べ飲まの活用術。

武井 一見さん大歓迎という企画の「食べ飲ま」は、街と人との垣根や枷を取り払って、ちょっと気後れしそうな店でも入って行けます。これはやっぱり嬉しいでしょうね。

石渡 そういうお声はたくさんいただきます。近隣の企業様からは社内の懇親の場に使っていただいているという話も聞きます。ある会社では普段接触のない部署同士をグルーピングして回らせるというのを、会社の福利厚生の一環としてやって

いるそうです。

武井 それは面白い。新たな「食べ飲ま」の活かし方ですね。

石渡 初日は会社の人たちと、二日目はご自分の仲間と、という方もいらっしゃいます。そうした形で「食べ飲ま」の楽しみ方も成長してきているかなと思います。

武井 そうですか。「食べ飲ま」には思い



もよらない効果がありそうですね。そういうことを街の人、お店の人が目にすると、そうか、じゃ、こんな仕掛けをしてみようかと、今度はお店で工夫をされたりすることもあるんでしょうね。そうしたことも活性化につながるのではないのでしょうか。

石渡 赤坂はいつも何かやってるよ

ねっていう街にしたいんです。赤坂ひよこクラブも「食べ飲ま」も氷川様の行事も串刺しになっていて、一年を通じて赤坂の街は何か面白いよねっていう感じにしたい。実際、赤坂全体でイベントがとつとも増えています。

武井 そうですね、赤坂はオフィス街で平日に働いている方が多いので、土・日は比較的静かですね。ですので、年間を通じて様々なイベントを行っていたけるとさらに街が賑やかになり嬉しいですね。

国際的な港区だから、店先にも外国語の表記を。

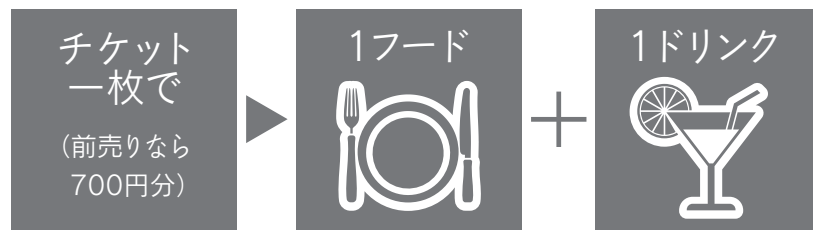
石渡 港区というのは、世界の大使館が数多くあります。こういう行政区って世界でなかなかないと思うんです。「食べ飲ま」ではしばらく前から英語版のパンフレットをご用意しています。

武井 2020年に向けて、そうした取り組みはますます必要でしょうね。外国人観光客はパンフレットだけでなく、店先にも外国語の表記があるだけで、親近感がずっと増すと聞いています。そういうところも意識しているといいですね。皆さん、一所懸命に街の活性化のためにいつもいつも努力してくださっています。古いものを大切に、新しいものを取り入れていって、赤坂の街の魅力をもっともっと知ってもらいたいですよね。そして、「食べ飲ま」参加店が、一つのステータスになっていくようになるといいですね。

石渡 ありがとうございます。そうなれたらと思います。



お得&簡単な、食べ飲まのシステム。 700円で1フード&1ドリンク



「食べないと飲まナイト」は、チケット制で美味しいお店をお得に巡れる街歩きイベント。
一軒あたり700円で1フード&1ドリンクが楽しめます(前売りチケットの場合)。

食べ飲まの楽しみ方は3ステップ。

1
step

チケットを手に入れる。

お得な前売り券は**3,500円**(1部700円×5枚つづり)です。
参加店舗、インターネット、ランチタイム&ディナータイムの
ホッピービバレッジ赤坂本社前にて販売しています。
(11月13日(月) 22:00まではwebから前売りチケットもご予約いただけます)

2
step

1人1店1枚。

食べ飲ま当日は、お店に「食べ飲まで」とチケットをお渡しください。
足りなくなったら当日券4,000円(1部800円×5枚つづり)もあります。
参加店舗でお求めいただけます。

3
step

余ったら

チケットを使い切れなくても、あとナイトで使えます。
11月16日(木)～12月3日(日)まで、参加店舗でお使いいただけます。
詳しくは食べ飲まパンフレットをご覧ください。

TICKET

前売りがお得。
前売り券¥3,500、当日券¥4,000。

前売り券のご購入は

① 公式ホームページで予約。→ 当日引き換え。

<http://akasaka.tabe-noma.com> にアクセスしてください。

赤坂食べ飲ま 検索

- ・11月13日(月) 22:00までご予約可能です。
- ・食べ飲ま当日に、現金で引き換えとなります。

② 参加店舗で購入。

赤坂食べ飲ま参加店舗で、直接ご購入いただけます。

③ ホッピービバレッジ赤坂本社で購入。

11月1日(水)より、ランチ時間帯11:30～13:00にホッピービバレッジ赤坂本社1階入口にて前売り券を販売いたします。
(雨天中止)

※ホッピービバレッジ赤坂本社 東京都港区赤坂2-15-12

当日券のご購入は

1枚(800円) から参加店舗またはチケット引換所にてご購入いただけます。

※チケット引換所は、上記のホッピービバレッジ赤坂本社1階です。
※前売り券・当日券とも、予定枚数に達し次第終了となります。



前売り券



当日券

見やすいパンフレット、英語版もご用意。

ブック型のパンフレットは、エリア別に店番号を色分けして、お店情報を探しやすいしました。料理写真付きなので、食べたいものが探しやすいかも。また、インターナショナルな赤坂らしく英語版パンフレットをご用意しました。ぜひ早めに手に入れて、食べ飲まの2日間の作戦を練ってください。



*写真は、前回のものです

アイコンで探そう。

お店の特徴をアイコンで示しています。ご要望に合わせたお店探しをサポートします。

- 大人数OK 5名様以上の席あり
- 喫煙OK 喫煙席あり
- 深夜OK 深夜営業OK AM0:00以降営業
- テイクアウトあり Takeoutあり
- ヘルシーメニューあり ヘルシーメニューあり
- デザートあり デザートあり
- がっつりメニューあり がっつりメニューあり
- ベの一品あり ベの一品あり
- お酒にこだわっています お酒にこだわっています
- 追加オーダーできます 追加オーダーできます
- あとナイトランチ ランチ使用可 ランチであとナイトのチケットが使えるお店です
- 食べないと飲まナイト“フード”メニュー 食べないと飲まナイト“フード”メニュー
- 食べないと飲まナイト“ドリンク”メニュー 食べないと飲まナイト“ドリンク”メニュー
- 食べ飲ま開催時間 イベント開催時間と営業時間が異なるお店もあります
- 食べ飲ま席数 イベント用にご用意する席数です

- アイコンは目安です。お店選びのご参考にお役立てください。
- 営業時間は店舗によって異なります。
- 共にお楽しみいただくために、混雑時は30分を目安にお店のご移動をお願いします。
- 仕入れや混雑状況により、メニューが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- セットメニューが終了した場合、変更もしくは記載時間よりも早く終了させていただく場合がございます。

赤坂食べ飲ま専用アプリで情報入手。

赤坂食べ飲まをもっともっと楽しめる専用アプリです。スマートフォンやタブレットでご覧いただけます。是非ご利用ください。



- ①お店選びのヒントがたくさん。
赤坂食べ飲ま参加店の店舗情報が入っています。気になるお店を手軽にチェックできます。
- ②空席情報がわかります。
赤坂食べ飲ま当日のお店の混雑状況をリアルタイムでご提供します。行きたい店の席が空いているか、一目でわかります。
- ※お店の混雑状況は刻一刻と変化しますので、あくまでも目安としてご利用ください。

- ③食べ飲ま後に、特典あり。
赤坂食べ飲ま終了後に、参加店舗で使えるアプリ限定クーポンなどのお得な情報が随時届きます。

- 赤坂食べ飲ま専用アプリのダウンロードはこちらから



Facebookでお店情報ゲット。空席情報もリアルタイムで。

赤坂食べ飲まのFacebookでは、随時、参加店舗の情報などをお伝えしています。また、当日は空席情報も発信します。ぜひご利用ください。



赤坂食べ飲まのウェブサイトも。

赤坂食べ飲まの詳細がわかるウェブサイトです。どんなお店があるかご覧いただけます。参加店舗マップも掲載。あらかじめどこどこを辿って楽しむルートを考えるのも一興です。お得な前売りチケットのご予約もこちらで承っております。ぜひご利用ください。

- 「赤坂食べ飲ま」で検索 または、
<http://akasaka.tabenaito-noma.com>にアクセスしてください。

赤坂食べ飲ま

検索



15分ごとに空席情報更新。

赤坂食べ飲み開催当日は、Facebookを使って空席情報をリアルタイムで紹介しています。コンシェルジュ隊が各店舗を回り、混み具合をホッピービバレッジ本社内の特設「食べ飲み中央オペレーションセンター」に報告。メンバーからの情報を集計して、15分ごとに空席情報を更新しています。

チケット引換所のホワイトボードに最新情報。

空席情報は、ホッピービバレッジ赤坂本社1Fのチケット引換所にあるホワイトボードにも掲出していますので、ご覧ください。



コンシェルジュ隊、街角でご案内。

「お店が見つからない」「どの店がいいか迷ってしまう」。そんな時は、お揃いのユニフォームを着たホッピーコンシェルジュ隊にお声をお掛けください。お店選びのご相談や、お店の空席情報などをお伝えします。

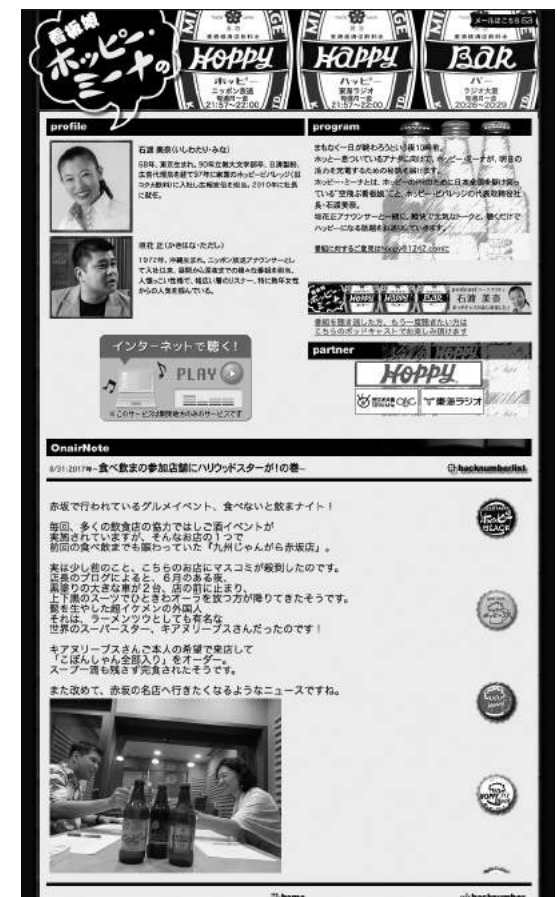


ラジオで食べ飲み情報。podcastでも聴けます。

ニッポン放送「看板娘ホッピー・ミーナのHOPPY HAPPY BAR」では、食べ飲み情報を下記の日時にオンエアします。ぜひオンエアをチェックしてください。放送終了後はpodcastでもお聴きいただけます。併せてご活用ください。



放送日時：ニッポン放送 21:57~22:00
10月30日(月)~11月3日(金)
11月6日(月)~10日(金)



<http://www.1242.com/hoppy/>

赤坂食べ飲み限定「ウコンタブレット」。

お酒飲みに愛されているウコンタブレットを、赤坂食べ飲み専用ケースに入れてご用意しました。肝臓機能の強化と回復に効果があるといわれているウコン。赤坂食べ飲み参加店舗にご用意しております。お酒を飲む前に服用するほうがより効果的です。二日酔い予防にお役立てください。数量限定でお店にあります。



※デザイン仕様等は変更になる場合があります。
※ウコンタブレットは、なくなり次第終了となります。

さて、なに食べよう。どの店に行こう。◎ジャンル別お店リスト

●日本

05	NEST CHICKEN
10	元祖もつ鍋 博多屋 赤坂店
11	季節野菜ダイニング 彩
12	赤坂 よ志多
17	肉バル&国産ワイン TONTEKING
21	博多やきとり・海鮮・もつ鍋 博多よかろう門 本店
24	家庭料理 さん六
27	赤坂はらだ
28	とんかつ 赤坂水野
30	旬の和食 溜池うさぎ家
31	和酒バル jeeco japan
32	南部どり 赤坂店
33	九州料理 居酒屋九州まる
36	赤坂 まるしげ
37	えん
39	赤坂 うのあん
46	鶏Dining Bird Place
50	赤坂 伊ち太

●中国

18	中国料理 たけくま
25	赤坂 蘭苑飯店
26	詰祥房
29	Musha Tora 赤坂
44	火鍋屋

●韓国

13	サムチュンネ
20	焼肉ANZU AKASAKA
35	明洞

●インド

23	リトルアジア 赤坂
43	本格インド料理 MOTI TBS前店

●バングラディッシュ&インド

04	バングラデシュ&インド料理 ショナルガ
----	---------------------

●シンガポール

47	401
----	-----

●アジア

02	ニジイロ Dining,Cafe&Bar
----	----------------------

●イタリア

06	Canti Canti
07	アリーナロッサ
19	チッティーノ 赤坂
45	Italian Bar Credo

●スペイン

03	スペイン食堂&BAR タベルナ ユキ
----	--------------------

●ベルギー

01	ベルギビアバー BAKETSU
41	ボア・セレスト

●ヨーロッパ

08	Cafe&Wine Bar jeeco
16	ルシェロ 〜ワインと生ハムの店〜
38	relax

●メキシコ

09	アンベ・クアトロ
----	----------

●トーゴ

22	トーゴレストラン エコ ロロニョン
----	-------------------

●ラーメン

14	九州じゃんがらあめん赤坂店
----	---------------

●BAR

15	CLEBAR
34	APACHE
49	BJ 2nd

●CAFE

40	ジャローナ
----	-------

●CLUB

42	赤坂 CLUB TENJIKU
----	-----------------

●お土産

48	赤坂柿山総本店
51	赤坂青野 赤坂見附店

早くから遅くまで、食べ飲まは営業中。◎時間別お店リスト

早めの時間でも、入れる店があります。終電のあとも、まだまだ店は開いてます。



●早くても開いています。

開店時間		
9:00~	48	赤坂柿山総本店
9:30~	51	赤坂青野 赤坂見附店
14:00~	08	Cafe&Wine Bar jeeco
	14	九州じゃんがらあめん赤坂店
15:00~	23	リトルアジア 赤坂
16:00~	43	本格インド料理 MOTI TBS前店

●ラストオーダー早めです。

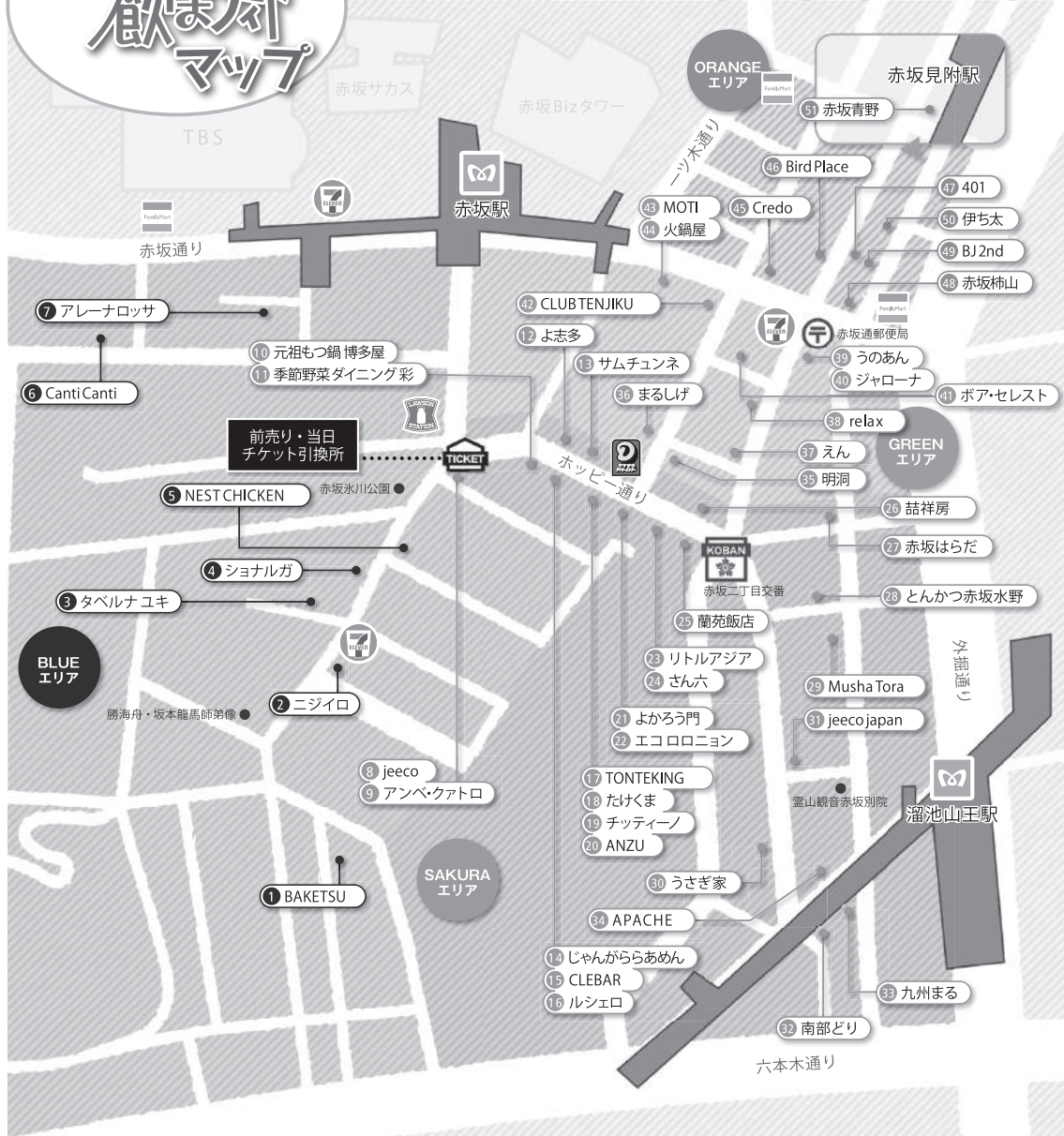
ラストオーダー時間		
20:45	28	とんかつ 赤坂水野
21:00	48	赤坂柿山総本店
	51	赤坂青野 赤坂見附店
21:30	07	アリーナロッサ
	18	中国料理 たけくま
	27	赤坂はらだ
	41	ボア・セレスト
21:45	43	本格インド料理 MOTI TBS前店
22:00	20	焼肉ANZU AKASAKA
	30	旬の和食 溜池うさぎ家
	38	good table -relax-
	39	赤坂 うのあん

●遅くまでやってます。

閉店時間		
~26:00	19	チッティーノ 赤坂(L.O.25:00)
	36	赤坂 まるしげ(L.O.24:30)
	45	Italian Bar Credo(L.O.24:30)
~27:00	05	NEST CHICKEN(L.O.26:00)
	49	BJ 2nd(L.O.27:00)
~29:00	15	CLEBAR(L.O.29:00)



Akasaka



第12回赤坂食べ飲ま 新参加店情報！

第12回赤坂食べ飲まの新参加店は6店。
赤坂の底力を感じる実力店です。
行って損なし。食べて満足。

n e w 6 f a c e s



05

専門店の、サクふわジューシー。

NEST CHICKEN

東京都港区赤坂2-17-58 赤坂福住ビルB2F 電話：03-6277-7613
営業時間：18:00～29:00(日曜定休)



◆食べ飲ま時間
18:00～27:00
(L.O.26:00)

◆食べ飲まメニュー

【フード】オリジナルチキン3個
【ドリンク】生ビール・ハイボール
各種・サワー各種・カクテル各種
等のお好きなドリンクから1杯

赤坂の誕生したばかりのフライドチキン専門店である。ご実家がトンカツ屋さんと聞いて、だから同じ揚げ物系なんですねと聞いたら、つくり方は独自に編み出した製法という宮田さん。この店の看板メニューのフライドチキンは国産ムネ肉を使用した、やわらかジューシーかつサクッとした仕上がり。パティシエの修業を積みバリスタなども経験し飲食一筋かと思えば、前職は芸能界という異色の履歴を持つ。お店を始める前に韓国の

フライドチキンを食べ歩いた。韓国はフライドチキンの本場だそう。韓国で人気の甘辛チキンや極上クリームチキンが日本で食べられるのは、まだここだけ。さらには、辛味の効いたタレが絶妙なヤンニョムチキンなど、この店でしか食べられないオリジナルメニューがどれもおいしい。



17

たっぷり肉が、ひと味おいしい。

肉バル&国産ワイン TONTEKING

東京都港区赤坂2-15-18 西山興業赤坂ビル1F 電話：03-6277-7393
営業時間：11:00～15:00/17:00～24:00(日・祝定休)



◆食べ飲ま時間
17:00～24:00
(L.O.23:15)

◆食べ飲まメニュー

【フード】特製 TONTEKIカレー
ハーフまたはローストビーフ&ポーク盛り合わせ
【ドリンク】生ビール、グラスワイン、ハイボール、サワー類、カクテル類、ソフトドリンクから1杯

内なる野性が肉を欲しがり、今夜は肉祭りだという日がある。そんな時はこの店だ。赤坂いちと自慢の肉盛り合わせ「TONTEKING」は、豚肩ロースのステーキとトンテキとローストポーク+豚ヒレソテーのゴルゴンゾーラ&ジェノパソースという、のどがゴクリとなる組み合わせ。その片鱗が食べ飲まメニューで味わえるので、ぜひとも試していただきたい。シェフ

は和食出身なので、ここぞというところの隠し味がたまり醤油だったりするから、日本人にはたまらない。例えばイタリアを旅して、ここに醤油がひと垂らしあればと思う、そのひと手間がこの店の味に潜んでいる。合わせるワインはすべて国産にこだわって数十種類を揃えている。ボリュームな肉をおいしく、楽しく、いただける店だ。



27

旬のいいものだけで、もてなす。

赤坂はらだ

東京都港区赤坂2-7-1 電話：03-5797-7530
営業時間：11:30～14:30/17:30～22:00(日・祝定休)



◆食べ飲み時間
17:30～22:00
(L.O.21:30)

◆食べ飲みメニュー

【フード】黒毛和牛を使った特製柳川鍋、赤酢を使ったとろ鯖の棒鮓、はらだオリジナルキャラメルプリンから1品

【ドリンク】生ビール、日本酒、焼酎、ワイン、ソフトドリンクから1杯

懐石のお店が赤坂食べ飲みにお目見え。完全個室で、旬の食材をコース仕立てでいただける。大切な人との会食や接待に利用したい店だ。1階はカウンターをメインにした割烹スタイル。2階は2名から22名まで対応できるお座敷個室。3階は完全個室となっている。特筆しておきたいのは、食べ飲みメニューもいつもと同じ食材でのご提供だ。料亭ってこんなものかと思われるのは嫌だからと、気風のいい女将がご挨拶代わりにと採算度外視で決めた。例えば、とろ鯖の棒鮓は取

材時は脂がよく乗った松輪の鯖が分厚く乗っていた。特製柳川鍋の肉のうまさとボリュームにも圧倒された。ぜひ行っておきたい一軒である。



34

風格の、酒場で酔う。

APACHE

東京都港区赤坂2-9-5 松屋ビル2F 電話：03-3586-3744
営業時間：11:00～27:00(土・日・祝定休)



◆食べ飲み時間
17:00～23:00
(L.O.23:00)

◆食べ飲みメニュー

【フード】オニオンリング(写真は2～3人前です)、オリーブのピンチョスとピクルス、MIXナッツから1品

【ドリンク】生ビール、ウイスキー全般、カクテル等全80品以上から1杯

1階の入口から2階の店内に上る階段で、すでに店の雰囲気が伝わってくる。所狭しと飾られたオブジェは鉄を主体するもので、そして扉にも圧倒され、店内にもずっしり感のあるインテリアが、風格すら帯びてそこにある。聞けば、どれも一点もの。天井に目をこらすと、赤く塗られたサソリがいて。このインテリアを眺めに行くだけでも一見の価値がある。赤坂で28年、歴史ある酒場である。早い時間からテーブルはお酒を飲む人がいて、遅い時間まで賑わう。バーボンを煽

るのもいいが、フローズンモヒートも知っていれば、この店の通ぶれる。ネイティブアメリカンスピリッツが漂う店は、なぜか懐かしさすら覚えるから不思議だ。



38

日本とイタリアの、おいしい方程式。

relax

東京都港区赤坂2-13-4 大協ビル2F 電話：03-6441-0680
営業時間：11:30～14:30/18:00～24:00(月～金) 18:00～24:00(土) (日・祝定休)



◆食べ飲ま時間
18:00～22:30
(L.O.22:00)

◆食べ飲まメニュー

【フード】徳島県産すだち鶏の自家製ハムとトリッパのトマト煮込みのセット

【ドリンク】オーガニックワイン、オーガニックサングリア(白・赤)、生ビールから1杯

イタリアと日本の料理を融合させた独特のメニュー。ジャパニーズフュージョン イタリアンという、新しいおいしさの発見である。食材の仕入れには農家に直接出向き、築地で見定める。ワインについても同様で、世界のワインを店のワインセラーにずらりと揃えている。できる限りワイン農家にも出向く。たとえそれがイタリアでも。「ちゃんと作っているワインと料理でおもてなしたいから」と、店主のフルヤさんは労を惜しまない。

製品ではなく作品とすらいえる食材とワインを集め、そして創作的な料理でもてなす。舌も心も満たされることを保証する。



47

シンガポール料理とワインの夜。

401 ～ヨン マル イチ～

東京都港区赤坂3-6-11 リカム5ビル 4F 電話：03-3505-1620
営業時間：18:00～29:00(月～金) 20:00～29:00(土・日・祝) (不定休)



◆食べ飲ま時間
18:00～24:00
(L.O.23:30)

◆食べ飲まメニュー

【フード】401風エスニック色満点オードブルプレート(3～4品盛り合わせ)

【ドリンク】グラススパークリング、グラスワイン(赤or白)、ガラナハイ、ソフトドリンクの中から1杯

ワインバーながら、フードメニューが人気の店。特に海南鶏飯は、シンガポールで食べるよりおいしいと評判だ。店主の中野さんはシンガポールとのハーフと聞いて納得。シンガポールのスパイスの効いた料理をはじめとする本格エスニック料理を中心に、深夜でもおいしいものがいただけるバーとして赤坂界隈でも貴重な一軒だ。ワインは、市場になかなか出回らないものをセレクトして揃えている。もっとワインを身近に感じて欲しい

という思いが中野さんにはあり、リーズナブルな価格で飲めるのもうれしい。味の好みを伝えれば、おまかせで出てくる。深夜遅くまでやってのも魅力。広い窓から赤坂の夜景を見下ろしながらいただくワインは格別である。



白熱のライブ、 Hoppy Hour 2!!



食べ飲みソング「明日のために」を歌う構康憲さんがプロデュースする、3MAN LIVE『HOPPY HOUR 2!!』が、8月に浅草Gold Soundsで催された。3組のアーティストによるライブパフォーマンスだ。

オープニング・アクトは、高校生の兄弟デュオ「鈴木鈴木」。構さんが楽曲を提供している。そして、3MANの最初はkatter。構さんとは「この界限でよく飲んでいる」という間柄。ループペダルを使って、ベース音、サイドギター、バックコーラスなどのパートをその場で録音し、それらのサウンドと一緒に歌う“ひとり生バンド”を披露。斬新で面白い。2組目は、リードヴォーカルGUNNさん率いるロックバンドDEPTH。GUNNさんと構さんは某ラジオ局で共にDJをやっていた時からの付き合いだとか。この日は7年ぶりの共演となった。こうしてみると、出演者全員が、構さんつながりのある面々。縁でつながっている。今回のライブのために作られた飲み物は、それにちなんで「縁～enn～」という名の、やさしくもおいしいオリジナルカクテル。銀座の嘉茂 bar kamoが特別に作ったものだが、構さんも開発に関与している。



最初のステージはkatter

ステージの最後は、構さんが今年やりたいと言っていたバンドスタイルの演奏。最後は全員がステージに上がっての大共演。飲みながら食べながら最後まで楽しいHOPPY HOURだった。



オープニングアクトの「鈴木鈴木」



2組目は、「DEPTH」



構康憲

ATL

赤坂 食べないと飲まナイト presents 『AKASAKA TABENOMA LIVE』

produced by KamaeYasunori,
supported by AKASAKA CLUB TENJIKU

赤坂は、芸事や音楽と切っても切れない街です。明治時代の花柳界から始まり、日本のエンターテインメント史上に名を残す数々のナイトクラブやキャバレーで連日賑わったバブル期、さらには赤坂BLITZや赤坂ACTシアターを中心に幅広いエンターテインメントが発信され続けている現在に至るまで、その歴史はこの赤坂に連続と続いています。

赤坂食べないと飲まナイトは、「大人の文化祭」をキーワードに2012年より開催されてきましたが、上野、神楽坂などの他開催地区にはない大きな特徴は、参加店舗の中にもれっきとしたライブハウスがあることです。エンターテインメント発信の地赤坂ならではの、食べ飲みのコンテンツと言えます。

そして、赤坂食べ飲みの当初からの参加店舗「赤坂 CLUB TENJIKU」は、この9月をもって10周年を迎えました。このアニバーサリーを記念して、今回の赤坂食べ飲みでは、いつものライブを拡大充実に「AKASAKA TABENOMA LIVE」としてお届けします。第1回から「食べ飲みソング」を歌い、盛り上げていただいているシンガーソングライター構康憲さんをプロデューサーに迎え、楽しく濃密なステージにします。ご期待ください。



ATL Program

1st Day 2017 11/14(火)

出演 構康憲／大貫永晴／みつつき／MC 篠崎柚宇

会場 42 赤坂 CLUB TENJIKU

時間 第1部 19:30～20:15

(構康憲／みつつき)

第2部 20:30～21:15

(みつつき／大貫永晴)

第3部 21:30～22:30

(大貫永晴／構康憲)

※フィナーレあり

チケット 入場の際には食べ飲みチケットが

1枚必要

※ 各部入替え制となります。

3部ともご覧になる方は食べ飲みチケットが3枚必要となります。

2st Day 2017 11/15(水)

出演 構康憲

会場 9 アンペ・クアトロ

時間 第1部 20:00～20:30

第2部 21:00～21:30

チケット 入場の際には食べ飲みチケットが

1枚必要

※ 各部入替え制となります。

Artist Profile

構康憲 (Yasunori Kamae)



東京は神田・末広町生まれのシンガーソングライター。1982年生まれのB型。都内を中心としたライブ活動の他、CM楽曲制作をはじめイベントテーマ曲、NHKみんなのうた等幅広く手がける。アイドル、アーティストへの楽曲提供、

ディレクションといったコンポーザーとしても活動。2017年からは自ら企画主催するイベントを積極的に展開。

大貫永晴 (Nagaharu Oonuki)



東京・下町・江戸川区出身のギター弾き語りシンガーソングライター。暑苦しいは褒め言葉。強く優しくまっすぐに歌う。2017年6月～10月「全都道府県東西南北ぶっぎりTOUR」と題し、移動手段はヒッチハイクで日本一周LIVEツアーを敢行。旅の珍道中をまとめたyoutube動画も大好評。全都道府県で叩き上げられたLIVEは必見。

みつつき (Mitsutsuki)



栃木県出身・元気と笑いガトレードマークのシンガーソングライター。1994年生まれのア型。独自の切り口から生み出される楽曲と、お客さま参加型のライブが特徴的。都内を中心としたライブ活動の他、アーティストへの楽曲提供やミュージカルに出演するなど、マルチに活動中。

石 渡 光 一

Autobiography of a storm by Koichi Ishiwatari

嵐の自叙伝

第
十五
回

「子供達の手に太陽を」編(前編)

仕

事の話は一旦置いて、この号の共有奮闘記に美奈が檜町小学校(現赤坂小学校)に転校してくる話が出たので(P28/29参照)、こちらも檜町小学校の話をするにしよう。

それまで目黒区に住んでいた私たち一家は、父が赤坂にビルを建てたことで、この地に引っ越してきた。美奈は小学校2年生で檜町小学校に転入することになった。昭和53年、やっと工場も製品も軌道に乗ってきたので赤坂にいる時間も増えて、町の連中の仲間にも入れてもらい始め、ゴルフも始めた。そんな折、ある朝、檜町小学校のM教頭が7~8人のお母さんを連れていらっしやった。是非PTAの会長をやってくれという話だった。PTAの活動とはどんなものか良く知らないけれども、檜町小学校は昔々中之町尋常小学校とっていた当時から数えれば、父、叔父、叔母、兄弟、姉妹から従兄弟まで入れれば数十人もお世話になったことを思い、ちょうど暇な時間も少しできたのでお引き受け

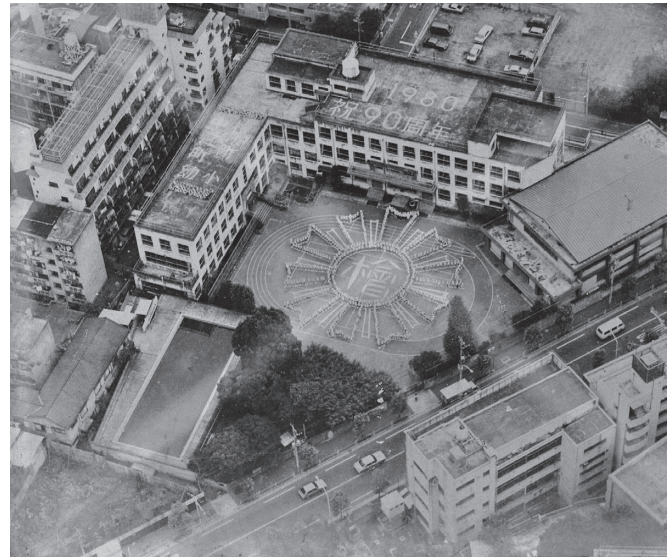
することにした。多少日照問題があるやに聞いていたが会長に就任するとやはりこの問題があった。檜町小学校に隣接してマンションが建つ計画があることがわかったのだ。学校の南側に地下1階地上8階のマンションを建てるというものだった。そこにこのビルが建てしまえば、子供達のプールも校庭も日陰になってしまう。子供達が伸び伸びと学校生活を送れるようにするためにも、日の当たらない校庭を作てはいけな。今でさえ男の子たちにとっては、野球も満足にできないほどの校庭であり、せいぜいハンドベースボールと称して、柔らかい球を手で打つゲームが関の山だった。全児童が一斉に校庭で遊べないので、学年ごとに時間割を作って、校庭で遊べる学年、砂場で遊べる学年、屋上で遊べる学年と区切って使っていた。その校舎の屋上にしても細長いだけのもので、遊ぶにも子供達が工夫しなければならなかった。日陰になるプールは水温が上がらずに使えないという話を聞いて、区役所の庶

務課の課長の所までこの対策があるや否や聞きに行ったところ「そんなものはない。都会の子供はしょうがないんだ。」という乱暴な答えが返ってきた。しかもすでに建築確認が下りているという。

学校へ帰って校長先生をはじめ、PTAの皆さんにこの話をした。なんとかほうぼうにお願いにいてこの計画をやめてもらうように運動をしましょうと訴えたところ、特に校長先生は「私の身はどうなっても良いので戦いましょう。」と激怒した。あの優しい校長先生とは思えぬほどだった。

暮れも押し迫った12月20日、建築会社主催の説明会があって、翌年の1月には学校とPTAの意見を聞きに建築会社の営業担当がやってきた。その場では土地は区に売却して欲しいというこちらの願いを伝え、向こうも階数を減らした図面

を月末までに届けると約束した。さらに、港区長あてにPTA役員名で建築計画の変更の陳情書を出した。この時点では、学校はきっと法的に守られるだろうと信じていた。多くの父兄たちも思いは同じだった。月末になって建築会社から届いた図面は、8階建を5階建てにするというものだった。だが、よくみると各階の天井を高くして実質的には8階建てと変わらない高さになっていた。こんな子供だましのような手口を使うとは、呆れてものがいえない。2月になって、PTAの臨時



昭和55年当時の赤坂小学校。左下の三角の空き地がビル建設地。プールのすぐ南側であることがよくわかる

総会が開かれ、檜町小学校隣接ビル対策委員会が作られた。長期戦になりそうな予感がPTAの皆さんの中にはあった。自分でも火中の栗を拾うとは、まさにこのことだと思ったが、子供達のことを守ってやれるのは親しかいない。仕事も大変な時期だったが、そんなことは言っていられなかった。それから2ヶ月後、先に出した請願書は6月の港区定例会議で採択された。その2日後には早速建築会社から区長宛てに売買金額に

ついて打診があり、7日以内に回答がなければ売買交渉を打ち切ると連絡が入った。ここで、妙な動きがある。区の教育委員会は用地買収を正式に決め区長部局あてにその旨を伝えているのだが、区側は売買金額を一向に示さず、7月4日には区の建築課が、地下1階地上5階建ての建築確認申請を受理するのだ。8月になり、建

築会社から売買交渉の打ち切りと事業計画の推進が通知された。それから一週間後、重い腰を上げたのか区長から建築会社あてに土地を譲って欲しいと要請するのだが、遅きに失した感は拭えず、交渉に応ずる気は無いとつれない返答が建築会社側からあった。その頃だ、私たちの戦いを世間に広く知ってもらおうと大きな横断幕を作ったのは。道路からよく見える体育館側に張り出した横断幕には「子供達から太陽を奪わないでください」というスローガンが大きく書かれていた。



24時間稼働中な私だが、
それでもプライベートタイムとオン・ビジネスの区分けはある。
自宅に戻り、私の背中のだどこかにあるらしいスイッチを切った時、
そこからはコーヒーは一切飲まない。
あたたかいものが欲しくなったら、ほうじ茶や紅茶、ハーブティーなどを飲む。

◆
家で紅茶を飲んできたばかりでも、オフィスに入って仕事モードになると、
まずコーヒーを飲む。それは、一つの儀式でもある。
喫煙家が仕事の合間にする一服や、考えを巡らす時にタバコの煙の行方を追っているのと、もしかすると通じるものが、私のコーヒーにはあると思う。
会議の場で、あるいは仕事部屋で、飲むのはコーヒー。コーヒーのフレーバーが脳を
活性化させるのがわかる。

◆
そんなわけで、コーヒー用のというか、仕事用のマグカップが、いつしか増えていった。
ラッキーカラーのマグカップが目につけば買う。

h i - t o - t e - m a

コーヒーで、加速する。

スターバックスは季節ごとにマグカップを出すのだが、ついついそれも連れて帰る。
仕事でニューヨークに行っても、スターバックスに寄ってマグカップを手に入れている。
スターバックスに関してはタンブラーも実はコレクションアイテムの一つだ。
年々密閉性が良くなるなど、進化を続けているので、ついつい手を出してしまう。
ああ、きりがない。

◆
いちばんのお気に入りとは聞かれるととても難しいが、真っ先にあがるのはムーミンシリーズのマグカップだろう。これも新作が出ると買ってしまふ。
私の永遠のアイドル、キムタク出演のドラマのマグカップも発売日に並んで買った。
そんな風にしていつの間にかマグカップが溢れかえっているのだが、いったいどれくらいあるのか見当もつかない。お気に入り、指が持ち手の中に上手く入って、飲み口がほどよく薄いもの。そういうマグカップを手に入れている時の私は、アイドルタイムではなく、実はフルブーストなのである。

50歳という節目を間近にして、これまで避けていたことに目を向けたり再開したりしている。3月のスキー、ピアノに始まり、そしてあんなに敬遠していたゴルフクラブを手にしてレッスンに通っている。3年ほどのOL時代を経験した日清製粉の同期会がきっかけでスキーとゴルフを始め、軽井沢国際音楽祭に関わるうちにピアノが弾きたいとまた思えるようになった。OL時代の同期は学校の友達とも違うし、その中にいると私は社長でもなんでもない。28年来の友人たちなので、なんだかほっとできるのだ。そして、これも50歳だからと檜町小学校の同級会があった。うちの学年は全員で50人もいなかったと思うが、1クラス分くらいの人たちが集まった。それが、最長で14時間20分にも及ぶ同級会だった。なるべく多くの人が参加できるようにと、昼の部からプログラムした。まず、ランチ会を割烹津やまでやった。そこなら同級生の女将も参加できる。それから母校の小学校を見学し、赤坂氷川神社でご祈祷お祓いをしていただいて、夜のパーティになだれ込むというもの。その間、入れ替わり立ち替わりでそれぞれの都合に合わせて人が出入りし、通しですべてに立ち会った人が14時間強という長時間の同級会となった。それだけ長い時間一緒にいると、あれこれ思い出す。こんなことがあったとか、誰が好きだったとか。そのおかげで、またすごく仲良くなった。こうして、以前私を支えていて、ちょっと遠のいていたものが一気にわーっと戻ってきた。単純に過去に戻るのではなく、再び新しいエンジンを得て動いている

感じだ。

私は目黒区の住宅地の中にあった八雲小学校から小学2年の時の檜町小学校（現赤坂小）に転校してきた。学校の雰囲気まったく違うのに最初戸惑った。八雲小は有名私立を落ちた子たちが多かった。ところが、檜町小学校は商売をやっている家の子やお父さんが皇宮警察の子もいて様々だった。今でいうダイバーシティだったので、みんな個性が強かった。だから、最初の一年は全然馴染めなかった。それまでのすごく穏やかな空気から、ものすごい人生の坩堝みたいな中に



文字：石渡美奈

突っ込まれた気分だった。みんなすごくアクティブだし、いじられるし、びっくりしてしまい、一年間泣きながら学校に行っていたのだ。でも、結局、それが私のうちなるものを引き出したのだと、今考えると思える。私は幼稚園から小学2年生まではおとなしい子だった。それが3年生に開花した。今に至る商人魂を引き出してくれたのは赤坂だ。これは、同級会から帰って両親とも話したのだが、もし、私が幼稚園で田園調布雙葉に入ってそのまま高校までいたら、経営者には成れ

ていなかったと思う。幼稚園を落とされ、小学校も落とされ、小学2年の編入で落とされ、補欠にまでなって落とされ、中学でようやく合格するなんて子はおそらくいない。でも、不合格には意味があって、私はやっぱり公立の小学校に入り、しかも赤坂という土地に転校してきたことがとても良かったと思っている。もちろん、中学以降の田園調布雙葉の教育も、私という人格形成において大変大きな影響があった。赤坂も雙葉もどちらも必要だったのだ。さらにいえば、日清製粉時代の3年間でなかったら、経営者は務まらなかったと

人生の苦労には意味があって、そこに無駄はない。
悔しさや悲しみは、心の襞を増やし深くして、
心の表面積が広がる。
苦労は成就への道程なのだ。

思う。あの3年で、社員としての気持ちや想いを体験できた。

社員との1対1の面談「1 on 1」を今年復活させた。そこで思ったことがある。自分がなぜ苦労を含めた経験をしているのか、その意味を分かっているほうが、人生がお得だということだ。「社長は、社長になったら人生がもっと楽になると思いませんか」と聞かれた。全然思わないと答えた。私はそもそも人生が一筋縄でいかないことを子供の頃からわかっていた。小学2年に

補欠で落ちて号泣したことが、私にとっては人生で最初の悔しい出来事だった。それがあったから中学受験を頑張れたと思うし、リベンジするぞという気持ちを強く持てた。きっと私は執念深い。慶應に入るのも25年かかっているし（笑）。その慶應にも、今年から再び研究員として戻っているがそれがまた厳しい。一步一步よろよろしながら進んでいる。これも次に向かう一步一步なのだと楽しんでいることもたしかだ。

いま、社会人になって3年はおろか1年も持たない人が多い。そのまま人生を捨ててしまう人もいる。もっ

たいないをつくづく思う。歯を食いしばってやり抜けば、それだけ高いところに行ける。見える景色が全然違うはずなのに。山は途中で諦めると頂上に登れない。今、そこにいる自分を受け入れ、環境を受け入れること。自分にばかり苦労が降りかかると言うのではなく、その環境、状況を受け止めることができれば、人はもっと幸せになれる。自己受容がないと他者受容はない。信頼とは受け入れることだ。受け入れることで変容が始まるのだ。

軽井沢国際音楽祭 2017 report

ホッピービバレッジが特別協賛している軽井沢国際音楽祭が、今年も夏の軽井沢で開催された。今年は「日本におけるチェコ文化年」にあたるが、音楽祭のテーマはボヘミアンである。いつもならユニオンチャーチなど小会場でサロンコンサートを経て、週末の大賀ホールという流れだが、今回の軽井沢は大賀ホールからのスタートだった。



軽井沢国際音楽祭
KARUIZAWA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 2017

8月18日[金] オープニング・ガラ・コンサート
@軽井沢大賀ホール



最初に登場したのは、ヴァイオリンの小林美恵とギターの尾尻雅弘。曲は「スペイン舞曲」から始まった。軽井沢在住の尾尻は7弦ギターを奏で、豊かな音の広がりを感じさせ、ヴァイオリンは華やかに舞うようだ。音楽祭の冒頭から、一気に遠い異国の風を受けているような

気分になる。

次に登場したのは、アコーディオンのパトリック・ヌジェ。ピアノの豊嶋裕子を伴ってのステージだ。日本語も巧みなヌジェに会場も和む。パリの橋の下〜スタイルミュゼット〜ピギャール〜帰ってきたツバメ〜モンマルトルの丘と続くシャ

ンソンメドレーで、今度はたちまちパリの石畳のカフェにいる気分。クラシックコンサートだけど、この趣向は楽しい。ヌジェの歌声を聴いていると、人というのは立派な楽器なのだと改めて思う。それほど魅惑的な歌声で枯葉を歌われたら、たまらない。最後は、ギターの

尾尻雅弘とヴァイオリンの小林美恵が加わってピアソラの「オブリビオン」と、「ヴィヴィオロンス」。哀愁が湿度を伴って伝わってくるのだった。

さて、ここまで聴いたところで休憩時間。ホワイエには、飲み物のブースがスタンバイしていた。今年のシグネチャーカクテルは「ルサルカ」。今年発売25周年を迎えた黒ホッピーをベースにして、赤すぐりの実も入っている大人の味。このほかに樽ホッピー、黒樽ホッピー、赤坂ビールピルゼン樽もあり、心地良い演奏の合間の小休止の一杯を楽しめた。休憩後の演奏は、ギターソロで4曲。



ついで、小林美恵のヴァイオリンと秋場敬浩のピアノの二重奏。ドヴォルザークのオペラ『ルサルカ』から「月に寄せる歌」が演奏され、カクテルの味と相まって、浮遊感が増すのだった。



軽井沢国際音楽祭
KARUIZAWA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 2017

8月19日[土] Happy Hour Concert
@軽井沢大賀ホール



この日は、Happy Hour Concert。3つのプログラムが用意されていて、好きなものをチョイスできる。各プログラムは1時間ずつで、インターバルは45分とたっぷり。そのぶんホッピーカクテルを楽しむ時間も長く取れるというわけだ。

午後1時からの最初のプログラムは、「N響メンバーによる弦楽四重奏と音楽祭管楽器奏者とともに味わうチェコ音楽」。まずは弦楽四重奏だが、ヤナー

チェクの弦楽四重奏曲「クロイツェル・ソナタ」で、息のぴったりあった演奏が心地よい。続いて、木管楽器の6人が登場し、同じくヤナーチェクの「青春」。ヤナーチェクの室内楽作品を聴ける機会は少ないといわれるが、その点からも今回のプログラムは貴重なものとなった。

Happy Hour Concertの第2弾は、「植松透と東京楽竹団」。自分たちが作った竹の楽器だけを使って演奏す





る。吹いて出す音、叩いて出す音、こすって出す音、落として出す音。それらのア

手たちの響演」。冒頭に横川音楽監督から先の実行委員長佐々木喬氏の逝

ンサンプルが一つの音楽になっていくのを、成功する実験を見るかのように楽しめた。竹は多彩な才能を持っていて、それを引き出す高い能力を東京楽竹団は示した。

この日3つ目のプログラムは、「音楽祭名

去が告げられ、コンサートの前にシューマンの「夕べの歌」が献奏された。コンサートは、モーツァルトの「ケーゲルシュタット・トリオ K.498」から。ピアノ野平一郎、クラリネット横川晴児、ピオラ中村洋乃理の組み合わせ。2曲めは、野平一郎が2016年にパリ国立高等音楽院から委嘱された「Si-Mi」。モーツァルトのなだらかさとは一転して、クラリネットは息の音も音楽の一部になっている意欲作。楽譜にはどうやって書くのだろうと思いながら聴いた。

軽井沢国際音楽祭

KARUIZAWA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 2017

8月20日[日] フェスティバルオーケストラコンサート

@軽井沢大賀ホール



プロのアーティストに、講習受講生、首都圏で活躍するアマチュア奏者を加えた1日だけのオーケストラの舞台は、軽井沢国際音楽祭のメインプログラム。ドヴォルザークの謝肉祭に始まって、ブラームスの二重協奏曲、休憩を挟んで、ブラームスのハンガリー舞曲集に、最後は「ドボ8」、ドヴォルザークの交響曲第8番ト長調 作品88という、圧巻のステージだった。途中、ブラームス二重協奏曲の第3楽章の終盤でソリスト、ジェラルド・ブーレの弦が切れると

いうハプニングがあったが、素早く弦を付け替えて、第3楽章の頭から再演奏。動揺のかけらもなく、むしろより高揚した演奏に会場からの拍手と歓声はなりやまなかった。また、ハンガリー舞曲集の、主旋律をモチーフに焦らして焦らして最後にありったけの情念を放出するかのようなアレンジは、カタルシスすら覚えるものだった。



軽井沢国際音楽祭

KARUIZAWA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 2017

8月21日[火] ~23日[水]

@軽井沢ユニオンチャーチ&軽井沢ニューアートミュージアム



本来ならフェスティバルオーケストラコンサートが軽井沢国際音楽祭のフィナーレだが、今年は翌日からコンサートが続いた。

8月21日「たそがれ時のコンサート こども音楽祭 ~真夏の夜の幻燈会~」は、いつもは武蔵野の雑木林で行われている幻燈会を軽井沢ユニオンチャーチに会場を移して行われたもの。植松透プロデュースで東京楽竹団も参加し、子供達と一緒に歌った楽しい会となった。同日、軽井沢ニューアートミュージアムでは、「ブランチ・コンサート アートはサイエンス×軽井沢国際音楽祭」が開かれた。ちょうど開催中の企画展「アートはサイエンス」とのコラボ演奏会で、軽井沢国際音楽祭のコンサート

マスター近藤薫がプロデュースした。テクノロジーを使ったアート表現と音楽の融合が興味深かった。

8月22日「アフタヌーンコンサートI」の副題は、縁の下が退屈になっちゃったコントラバス。軽井沢ユニオンチャーチのステージの主役は、コントラバス。N響主席のコントラバス奏者吉田秀プロデュースによる、コントラバスを主役

にした曲が次々に奏でられた。

8月23日「アフタヌーンコンサートII」は、群馬交響楽団メンバーとの、管楽器室内楽コンサート。横川音楽監督と群馬交響楽団野田祐介は師弟の関係で、その共演でもあった。これを持ってすべてのコンサートが終了し、また来年の軽井沢に向けて、新たな一年が始まる。



真夏の恒例、中華料理とホッピーの宴。 重慶飯店別館 Presents HOPPY FESTA 2017 Summer

8月1日は中華とホッピーの日。3回目を迎える重慶飯店別館のHOPPY FESTAが、今年も盛大に行われた。1回目が立ち席、2回目は着席でビュッフェスタイル、3回目は着席のまま各テーブルに料理が運ばれ、したがって、お客様はさらにゆったりと料理とホッピーが楽しめるスタイルになった。

会場の一番奥には特設ステージが置かれ、真夏のフェスタにふさわしくハワイアンの生演奏とフラダンスが披露され、気分は益々盛り上がった。料理は重慶飯店別館のフルコース。季節の前菜盛り合わせから始まって、生ホタテと紋甲イカ辛子炒め、蟹肉入りのフカヒレの煮込みなど、次々に逸品がテーブルに運ばれる。名物麻婆豆腐は、辛さも本格的な「正宗」もあわせた特別2品メニューだ。

飲み放題の樽ホッピーと黒樽ホッピーに、今回はレモンハイもスタンバイ。3回目とあって、慣れたお客様は、焼



酎の濃さを指定したり、それぞれオリジナルに楽しんでいた。中には、「樽ホッピーを初めて飲んだけど、普段のホッピーとは一味違う。断然美味しい」とビックリされている方も。

恒例のスペシャルカクテルは、クォーター・センチュリー。ドイツの薬草酒やイタリア産リキュールとスイートベルモットをアクセントに使ったベースに黒ホッピーを加えたビターなカクテルだ。もちろん、銀座の嘉茂 bar kamo特製。四川料理に合わせてという調合だが、これは肉に合う味。

料理がさらにすすむ。そういえば、木暮総料理長が今回のために作ったスペシャル豚肉料理も、黒ホッピーを使って煮込んだもの。二人のスペシャリティは、ともに今年発売25周年という黒ホッピーをフィーチャーし、それぞれ自分のフィールドで生かしてくれた。

ホッピーがすすむにつれて、会場は熱気を帯び、最後のくじ引きプレゼント大会でそのヴォルテージは最高潮に達した。重慶飯店アレックス・リー専務からはローズホテル横浜の宿泊券や重慶飯店のお食事券がプレゼントされた。ホッピーからはニューヨークで作られたTシャツ、ホッピーセット、名入りホッピージョッキなどが用意され、当選者の歓声は会場を轟かせた。



【編集後記】「赤坂」という街を学び直したいと考えています。江戸時代に八代將軍吉宗公が整え、明治の頃より各界の歴史に名を残す大物達が愛して止まなかった赤坂。魅力の本質を理解し、後世に伝え続ける形に進化させていきます。赤坂食べ飲みも、更に進化を遂げ続けます！(37)

Hoppy Magazine (ホッピーマガジン) 第48号(隔月発行) 2017年10月発行

編集長:石渡美奈 CD:齋藤利也 制作:サイトウズキ事務所 デザイン:三門真嗣デザインスタジオ

発行:株式会社ホッピーミーナ 〒107-0052 東京都港区赤坂2-15-12 ☎0120-5137-88 www.hoppy-happy.com 印刷:株式会社和田フォトリソ印刷

12th

さあ! みんなハシゴしよう!

LET'S ENJOY BAR HOPPING!

＼赤坂／

食べないで
飲まナイト

TABE

2017

NO MA

IN

AKASAYA

次回、第13回赤坂食べ飲まは、

＼2018.5/15(火) & 5/16(水)／

それまで待てない人は、「赤坂食べ飲まアプリ」で赤坂の街のお得な情報をお伝えします。あわせてご活用ください。